

みんなで作ろう 安心の街

令和4年10月号 No. 99
(公財) 宮崎県防犯協会連合会

「麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動」の実施 ～危険は、私たちの近くに潜んでいる。～

☆実施期間

令和4年10月1日から同年11月30日まで

☆薬物乱用の背景

薬物乱用者の多くは、ほんのちょっとした好奇心から安易に使い始め、抜け出させなくなります。この背景として、次のようなことがあります。

- ①薬物が身体に与える危険性・有害性を十分に知らない。
- ②薬物は精神依存性が強く、薬物依存になると自分の意志ではやめられなくなってしまう。
- ③薬物の取引による利益を資金源としている暴力団や外国人密売組織などが言葉たくみに勧め、大量に供給している。

☆なぜ、薬物乱用はいけないのか

- ①身体にも心にも大きな悪影響がある。
- ②自分の意志では止められなくなる。
- ③事件や事故の原因となる。
- ④友達や家族など大切な人を悲しませる。

☆相談窓口

宮崎県薬務対策課 0985-26-7060
宮崎県精神保健福祉センター 0985-27-5663

☆情報提供窓口

宮崎県警察違法薬物 110 番
0985-20-1074
最寄りの警察署・交番・駐在所

宮崎県の犯罪情勢（令和4年8月末現在）

今年（1月～8月）における本県の刑法犯認知件数は、2,336件で、前年同期と比べて33件増加しています。県内の犯罪情勢は、次のとおりです。なお、本統計資料の数値は暫定値です。

○ 刑法犯認知・検挙件数・検挙人員

	区分	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
R4 ・ 1~8月	認知件数	2,336	20	203	1,616	181	28	288
	検挙件数	1,099	20	191	643	115	26	104
	検挙率	47.0	100.0	94.1	39.8	63.5	92.9	36.1
	検挙人員	832	17	203	406	89	26	91
	うち少年	61	3	8	36	2	0	12
R3 ・ 1~8月	認知件数	2,303	14	250	1,586	137	19	297
	検挙件数	1,192	14	220	735	107	14	102
	検挙率	51.8	100.0	88.0	46.3	78.1	73.7	34.3
	検挙人員	812	17	221	394	79	15	86
	うち少年	69	5	17	39	1	1	6
増減	認知件数	+33	+6	-47	+30	+44	+9	-9
	検挙件数	-93	+6	-29	-92	+8	+12	+2
	検挙率	-4.8	0.0	+6.1	-6.5	-14.6	+19.2	+1.8
	検挙人員	+20	0	-18	+12	+10	+11	+5
	うち少年	-8	-2	-9	-3	+1	-1	+6

※ 万引きの検挙人員 228 人の男女別 男 133 人、女 95 人

※ 万引きの検挙人員 228 人のうち、
少年（14歳～19歳） 16人（男7人、女9人） 万引きに占める割合 7.0%
65歳以上の高齢者 114人（男63人、女51人） " 50.0%
となっている。

※ 令和3年8月末現在の万引きの検挙人員 248人（男140人、女108人）

※ 万引きの検挙人員 248人のうち、
少年（14歳～19歳） 24人（男15人、女9人） 万引きに占める割合 9.7%
65歳以上の高齢者 115人（男66人、女49人） " 46.4%
となっている。

65歳以上の高齢者の万引きが増加傾向